

その相手、信じて大丈夫？ 特殊詐欺被害を防ぐために



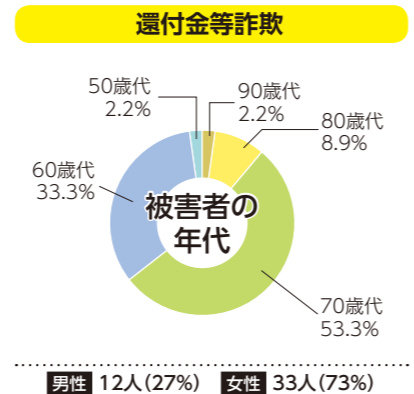
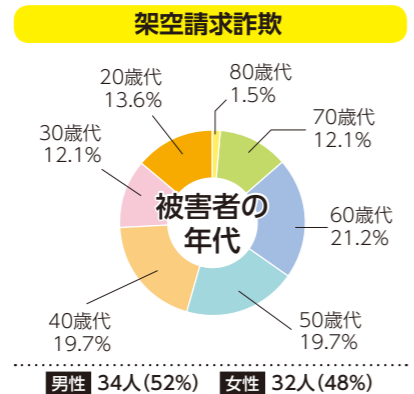
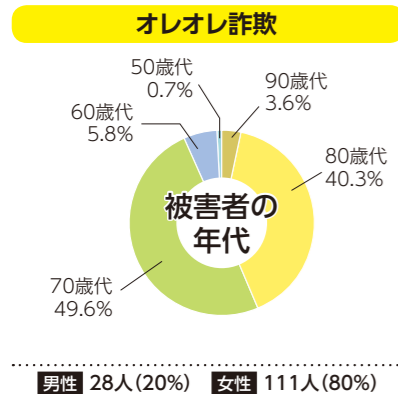
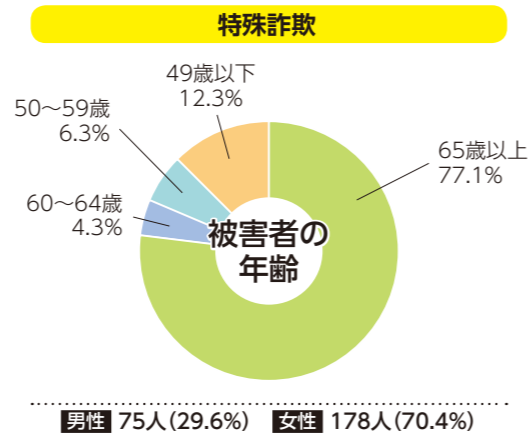
県内の被害件数

昨年、県内では特殊詐欺の被害件数が253件ありました。被害総額は減っているものの、発生件数は平成28年より増加しています。オレオレ詐欺や還付金等詐欺では被害者の多くが60～80代です。また、被害者の7割以上が女性です。一方、架空請求詐欺になると20～80代と幅広い年齢層が被害に遭っています。男女比もおよそ半々。特殊詐欺の手法によっては、年代や性別を問わず、多くの人がだまされてしまっています。

まだ若いから、自分は大丈夫だ、という自信がある。こういった気持ちで慢心につながります。特殊詐欺はさまざまな方法で冷静に考える隙を与えず、相手の判断力を奪います。結果、多くの人が被害に遭ってしまうのです。他人事と考えず、自身も被害に遭うかもしれないという気持ちで、特殊詐欺に注意を払ってください。

昨年の県内特殊詐欺被害発生状況

	発生件数	前年比	被害額
特殊詐欺全体	253件	+31件	約4億2,350万円
振り込み詐欺	253件	+42件	約4億2,350万円
オレオレ詐欺	139件	+36件	約2億8,330万円
架空請求詐欺	66件	+25件	約8,000万円
融資保証金詐欺	3件	-3件	約1,210万円
還付金等詐欺	45件	-16件	約4,810万円
振り込み詐欺以外の特殊詐欺	0件	-11件	-
金融商品等取引	0件	-10件	-
ギャンブル情報	0件	-1件	-
異性交際あっせん	0件	0	-
その他	0件	0	-



Interview



筒井さん(左)と村椿さん(右)

前橋警察署と前橋東警察署の生活安全課長である筒井好文さんと村椿正美さんに本市の詐欺被害状況を聞きました。「本市は県外からアクセスしやすい駅もあり人口も多いので詐欺認知件数が県内でトップクラス。立て続けに連絡したり期限が迫っていると強調したり、焦らせ急がせ考える時間を与えないため、被害に遭ってから詐欺だったと気付く人も多いのが現状です」署には毎日のように特殊詐欺に対する相談電話が入ります。「電話などの言葉のやりとりだけで金銭の授受が発生することはありえません。相手の話を聞かないことが一番ですが、まずは行動する前に一度警察などに相談してください」

特殊詐欺は年々増えています

「母さん、オレオレ」

息子を装い突然かかってくる電話を経験した人も多いのではないのでしょうか。これはオレオレ詐欺の名称で全国的に知られるようになった特殊詐欺の一つですが、今はその手法も巧妙化しています。

市内の刑法犯認知件数は平成16年の8,441件をピークに、平成28年が2,649件、昨年が2,537件と毎年減少しています。しかし、振り込み詐欺などの特殊詐欺の件数は増加。高い水準で推移しています。特に県内の特殊詐欺認知件数の約5割、オレオレ詐欺認知件数の約6割が本市と高崎市に集中している現状があり、きわめて厳しい情勢です。特殊詐欺の手法や対策を知り、被害を防ぎましょう。

☎ 027・898・5839
☎ 027・898・5839